

# マリレ情報よろず屋

平成28年4月発行第43号  
第二管区海上保安本部  
海の安全推進室

平成28年3月のプレジャーボート事故は4件!!  
(乗揚2件、機関故障1件、無人漂流1件)

## 事故事例(乗揚/宮城)

プレジャーボートA丸は、遊漁を行う目的で出港しましたが、風が強かったため、釣りを断念し帰港することにしました。

船長は、航行海域には「のり養殖施設」が存在することを認識していましたが、最短距離で帰港することを優先し、十分な見張りを行わないまま、航行を続けました。

その結果、同施設の存在を直前で察知し、後進をかけたが間に合わず、同施設に乗揚げました。このような事故を起こした場合、**養殖施設の損害賠償**を求められることもあります。

帰港判断までは良かったのですが、その帰り道に事故を起こしては本末転倒です。

操船者は、次の事項をしっかりと守ってください。

時間的余裕を持った航海計画

周囲の見張りの徹底

安全な速力での航行

(障害物を見つけた場合、避けられる速力で!)



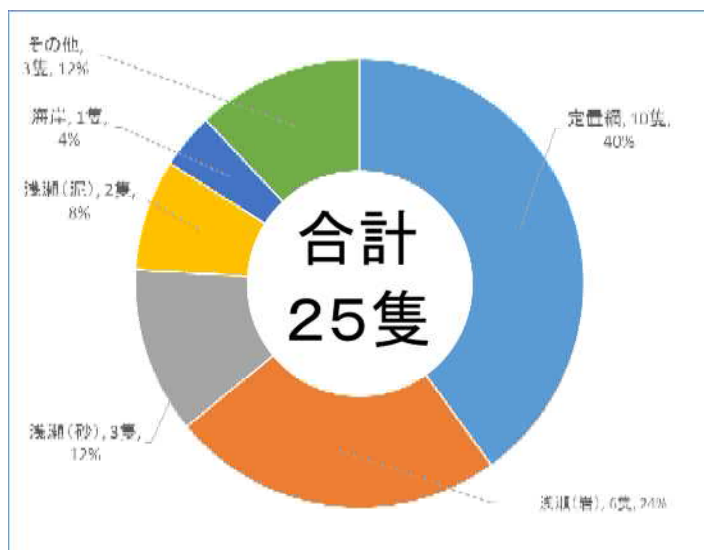
養殖施設に乗揚げたA丸

帰り道の  
気の緩みに要注意!

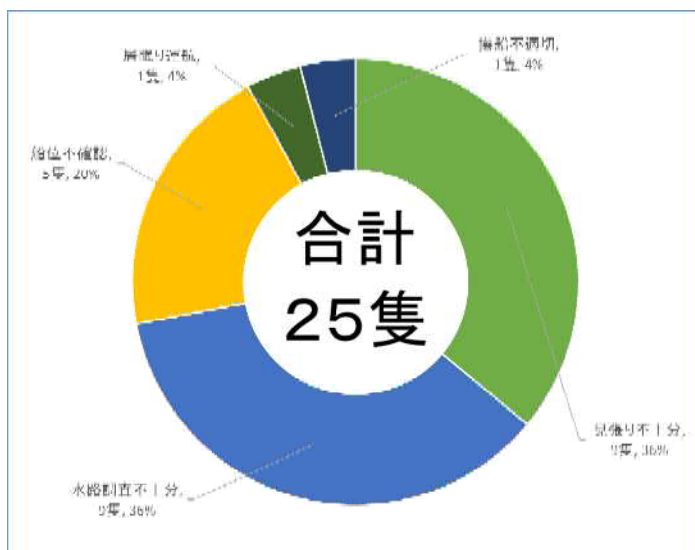


## 過去10年(H18~H27)におけるプレジャーボート・遊漁船の乗揚海難発生

### 乗揚海難の乗揚対象物



### 乗揚時の主原因



【注意!】海は広いと思っても、港や地理的な関係で航行海域が似通ってくるため、思った以上に他船との関係を考える必要があります。

【海域状況の把握】～海域状況の把握は乗揚げ防止の最低条件～

海域特性や潮位変化により、次のような危険性が考えられます！！

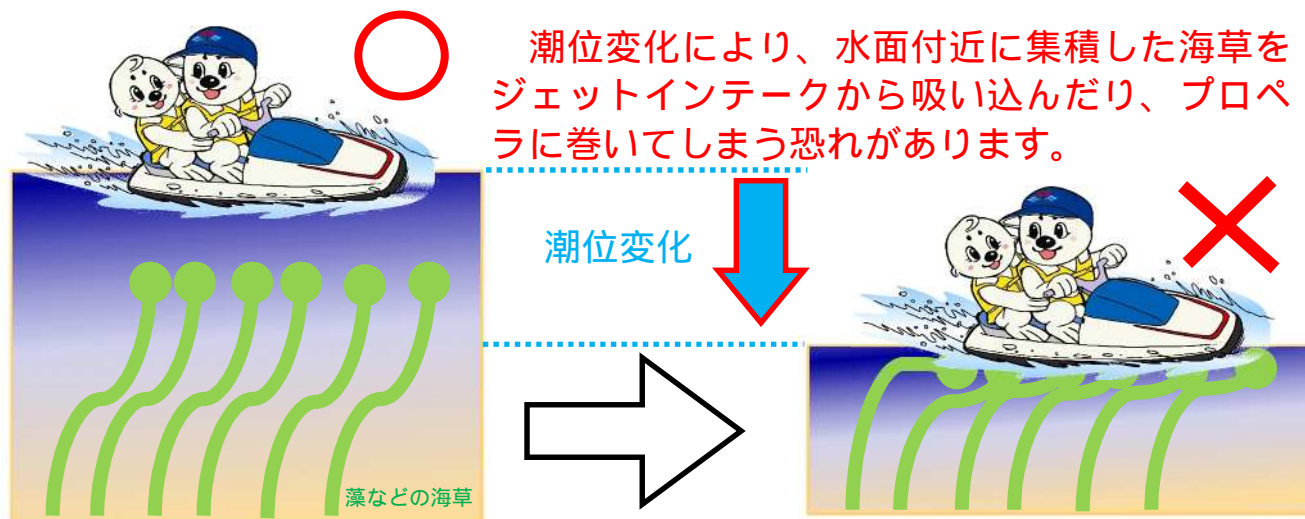
浅所においては、時間帯によって乗揚げる恐れ

潮位の状況により、干潮時は洗岩・暗岩・干出岩・水上岩などの影響が出てくるため、細心の注意が必要です。海図で確認しましょう。

潮汐に応じて航行経路の変更を考慮

干潮時には、満潮時通航できた海域が前述のとおり危険海域となる可能性があるため、潮汐や海域特性に合わせた航行経路の選定が必要です。

乗揚げ以外にも危険性あり



ワンポイント講座

【機関故障の未然防止】～これからのレジャーシーズンに向けて～

最低でも1年に1回は、**専門業者へ点検を依頼**しましょう！

海は、**ただでさえ塩気があり**、陸上で使用している車以上に整備を行う必要があります。

「大丈夫だろう、何とかなる」という臆断は、**非常に危険です！**

荒天時に機関故障したため、**船首を波に立てることができず波が打ち込み浸水・転覆し、乗船者全員が死亡**した事故も発生しております。

**命を預ける船**ですので、メンテナンスをきちんと実施しましょう！



マリレ情報よろず屋

～バックナンバーはこちら～

MICSスマートフォン用サイト

(沿岸域情報提供システム)



マリレ情報よろず屋に関するご質問等は、「022-365-9609 (直通)」までご連絡ください。  
パソコンの方：「マリレ情報よろず屋」「MICS」で検索！